

科学技術政策研究に係る第 1 期研修プログラムについて

平成 14 年 6 月 21 日
科学技術政策研究所企画課

本年 4 月、新規に科学技術政策研究所の調査研究スタッフとなった者を主たる対象として、別紙により第 1 期（計 4 回）の研修プログラムを実施。当所職員の他、文部科学省職員、関連大学院学生等にも案内を送付、約 20 名が受講。

○研修内容

第 1 回（4 月 12 日；講師 斎藤尚樹）

「新たな科学技術行政システムの構築と当研究所の果たすべき役割」

第 2 回（4 月 16 日；講師 富澤宏之）

「国際的コンテキストで見た我が国の科学技術『創造力』」

第 3 回（4 月 18 日；講師 横田慎二）

「先端科学技術の動向分析と戦略的政策形成へのアプローチ」

第 4 回（4 月 22 日；講師 伊地知寛博）

「『知の創出』プロセスと経済・社会への効果的・戦略的展開のあり方」

○研修受講者からのフィードバック

研修終了後、受講者にアンケート調査を行ったところ、

- ・ 科学技術政策の全体像とその中での当研究所の役割や位置付けに関する理解が深まった
- ・ といった肯定的な感想が多かった。他方、
- ・ 講演の内容が時間に対して多すぎる
- ・ 設備（スライド、マイク等）が不十分
- ・ といった改善点の指摘があった。

また、今後取り上げてほしいテーマとして、

- ・ 各グループの調査研究成果
 - ・ 客員研究官による講演
 - ・ 当研究所の成果を活用しているユーザーの声
 - ・ 調査研究の種々のアプローチ手法の長所・短所・活用法など
 - ・ 調査研究のノウハウ（インタビューのコツ、プレゼンテーション方法等）
 - ・ 同一分野に係る他機関の調査結果との差異
 - ・ 行政法関連の講演
- 等が挙げられた。

これら第 1 期プログラムの実績・経験を踏まえ、今後政策研究のプラクティスに係る本格的研修プログラムの実施を検討予定。